

出題分析		
試験時間 100 分	配点 200 点	大問数 3 題
分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加]		難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化]
【概評】 同志社大学の英語の大問構成にはここ数年大きな変化は見られない。Ⅰ・Ⅱは長文読解で英文の分量はどちらも3ページ程度、設問としては、空所補充、同義選択、内容一致等があり、下線部和訳がⅠ・Ⅱどちらかにある。大問Ⅲは会話文で、空所補充と1~2行程度の和文英訳が定番である。大問Ⅰ~Ⅲを通じて、英文自体および設問の難度は標準的であるが、今回の日程では大問Ⅰで語数が大幅に増えた。英文のボリュームからすると、精度だけでなく相当のスピードが要求される。		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	長文読解 「身体の延長としての道具」 ○ 語数：1043 語 (昨年) 789 語	人間が道具を自らの身体の延長のように扱えるようになるメカニズムについて論じた文章。設問は総じて解きやすいが、Eの内容一致の選択肢1は紛らわしい。「テニス」という言葉が ancient Greek 「古代ギリシャ語」に由来することは書かれているが、テニスそのものが ancient Greece 「古代ギリシャ」に遡るとは書かれていない。	標準
II	長文読解 「騒音が健康に与える影響とその対策について」 ○ 語数：905 語 (昨年) 904 語	騒音が健康に与える影響とその対策について述べた文章。Eの内容一致には、紛らわしい選択肢はなく、全問正解が狙える。Fの英文和訳のitは、直前の an ordinary wall を指すが、「普通の壁」と訳すよりは、「何の変哲もない壁」などと訳した方が意味が伝わりやすいだろう。	標準
III	会話文 「SNS利用の危険性」 ○ 語数：571 語 (昨年) 589 語	2人のきょうだいによるSNSでの情報公開の危険性に関する会話。Aの空所補充の(h)は、直後の「SNSは0か100かではない」という旨の発言がヒント。Bの和文英訳では「気が引ける」を文脈に沿って正しく解釈する必要がある。ここは「遠慮する」ということではなく「する気がしない」という方向で、 feel reluctant to V などが適訳。	標準

設問構成 (設問数・形式・内容)												
大問 番号	設問数	選択式						記述式				
		空所 補充	同義 選択	内容 把握	語句 整序	内容 一致	その他	和訳	英訳	自由 英作	内容 (理由) 説明	その他
I	5	3	9	4	1	3/8						
II	6	3	7	4	1	3/8		1				
III	2	8							1			

※「選択式」および「記述式」の欄の数値は、各設問内の小問数を表す。ただし、内容一致については、正答数/選択肢数を表している。

合格のための学習法

同志社大学の入試で高得点を取るために最も重要なのは、身につけるのに時間のかかる英文読解力をつけることである。そのためにはまず早いうちに、暗記ではなく理解を重視した、英文を読み書きするための文法を身につけよう。同時に毎日こつこつ辞書を使って時間をかけて英文を読む生活を始めよう。スピードを気にすると英文読解力は身につかない。さらに短文中心の英作文の問題集も辞書を使いながら少しずつこなしていこう。また市販の単語・熟語帳を使って毎日単語・熟語を覚えることも忘れずに。しかし重要なのは英文読解。英語の勉強時間の大半を英文読解にかけてほしい。英文読解への取り組み方が合否を分ける。